

会計名			ガーデンフェスタ開催事業				担当部		都市公園部	
一般会計							担当課		公園整備課	
款	項	目					担当係		事業推進係	
8	4	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤							
		基本施策	公園緑地・緑化							
		施策の内容	特色ある公園の整備							
	目的	花と緑の祭典であるガーデンフェスタを開催することで、公園の魅力向上とにぎわいの創出を図る。				主たる内容	○よさみガーデンフェスタの開催 ○ミササガパークガーデンフェスタの開催			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者		市民			事業期間	令和7年度～			
	実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
				・市制施行75周年を記念したガーデンフェスタの開催		・フローラルガーデンよさみ管理運営事業及びミササガパーク管理運営事業に移行				
成果		・よさみガーデンフェスタ及びミササガパークガーデンフェスタを開催できた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）			—	78.3	—	—	—	
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	7,000	0	合計	7,000,000 円		
	財源	特定財源	0	0	6,000	0	委託料	7,000,000 円		
		一般財源	0	0	1,000	0				
	職員人件費 ②		0	0	2,563	0				
	総事業費（①＋②）		0	0	9,563	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		あいち森と緑づくり都市緑化推進事業費補助金（県）				
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			ガーデンフェスタ開催事業		担当部	都市公園部
一般会計					担当課	公園整備課
款	項	目			担当係	事業推進係
8	4	5				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	社会情勢やニーズの変化により、公園が担う役割は多様化しており、公園の更なる充実や魅力向上による誰もが行きたくなるような公園づくりが必要である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	あいち森と水づくり都市緑化推進事業費補助金の活用により、コストの節減を図る。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	第3次緑の基本計画では、緑に関する普及啓発として、緑化イベントの開催に努めることとしており整合している。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	よさみガーデンフェスタ及びミササガパークガーデンフェスタでは非常に多くの方（約2万4千人）が来場しており、市民が緑に関する知識や技術を習得する場を提供している。	
		今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止		
本事業の委託料を公園緑地課所管のフローラルガーデンよさみ管理運営事業及びミササガパーク管理運営事業の指定管理料に上乗せし、事業を継続する。						

会計名			総合運動公園整備事業				担当部		都市公園部	
一般会計							担当課		公園整備課	
款	項	目					担当係		施設整備係	
8	4	5								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤				
		基本施策	公園緑地・緑化				
		施策の内容	特色ある公園の整備				
	目的	魅力あふれる公園づくり構想の実現に向けて、誰もが行きたくするような公園づくりを効率的かつ効果的に推進し、憩いとにぎわいの場を創出する。			主たる内容	○エントランスエリアの整備 ○グリーンフィールドエリアの整備	
	位置づけ	関連計画	第3次緑の基本計画、魅力あふれる公園づくり構想、第4次刈谷市都市計画マスタープラン				
		根拠法令	都市公園法、都市計画法				
	対象者		市民		事業期間	令和6年度～	
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 ■その他				

BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
			・Park-PFI公募資料の作成 ・エントランスエリアの基本設計 ・グリーンフィールドエリアの基本設計等		・エントランスエリア整備工事（Park-PFI） ・スケートボードエリア管理運営（R6繰越分） ・エントランスエリアの基本設計 ・グリーンフィールドエリアの基本設計等		（R7繰越分） ・エントランスエリア整備工事（Park-PFI、園路整備）		
	成果	・公募により選定した事業者と協議を行いながら、エントランスエリアの実施設計を進め、工事の進捗を図ることができた。							
	課題	・エントランスエリアの施設の管理運営に向けて関係機関と協議・調整を行っていく必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）			—	78.3	—	79.3	80.3
	活動指標								
	他市との比較検証								

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	3,784	14,087	14,000	合計	14,086,500 円
	財源	特定財源	0	0	8,855	14,000	委託料	9,586,500 円
		一般財源	0	3,784	5,232	0	工事請負費	4,500,000 円
	職員人件費 ②		0	2,071	8,682	3,810		
	総事業費（①+②）		0	5,855	22,769	17,810		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0	前年度繰越金			
		9年度以降の事業費見込		0				

会計名			総合運動公園整備事業	担当部	都市公園部
一般会計				担当課	公園整備課
款	項	目		担当係	施設整備係
8	4	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	社会情勢やニーズの変化により、公園が担う役割は多様化しており、公園の持つ機能の更なる充実や魅力の向上による誰もが行きたくするような公園づくりが必要である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		高い	P a r k - P F I 制度により民間資金などを活用し、既存園路や施設をいかした整備を行うことにより、コストの節減を図る。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	第8次総合計画には、総合運動公園では、特色をいかした公園整備を推進することとしており整合している。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	構想の実現を目指して誰もが行きたくするような公園づくりを推進することで、地域の魅力向上や緑豊かな潤いのあるまちづくりに寄与するとともに、新たな「憩い」と「にぎわい」の場を創出することができる。
	今後の方向性		□ 拡充 ■ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止		
	魅力あふれる公園づくり構想の実現に向けた取組を推進する必要がある。				

会計名			亀城公園整備事業				担当部		都市公園部		
一般会計							担当課		公園整備課		
款	項	目					担当係		事業推進係		
8	4	5									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤								
		基本施策	公園緑地・緑化								
		施策の内容	特色ある公園の整備								
	目的	魅力あふれる公園づくり構想の実現に向けて、誰もが行きたくなるような公園づくりを効率的かつ効果的に推進し、憩いとにぎわいの場を創出する。					主たる内容	○刈谷城址エリアの整備			
		位置づけ	関連計画	第3次緑の基本計画、魅力あふれる公園づくり構想、第4次刈谷市都市計画マスタープラン							
		根拠法令	都市公園法、都市計画法								
		対象者	市民		事業期間	平成20年度～					
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
				・刈谷城公募資料の作成 ・刈谷城公募選定委員会の開催		・にぎわいBOXの管理運営 ・刈谷城啓発活動の実施 ・刈谷城公募選定委員会の開催 (R6繰越分) ・刈谷城の実施設計		・にぎわいBOXの管理運営 ・刈谷城啓発活動の実施 ・刈谷城の確認申請手続等 ・刈谷城石垣隅櫓等整備工事			
成果		・刈谷城の整備に向けて、学識経験者等で構成する公募選定委員会を開催し、優先交渉権者を決定するとともに、実施設計を行い、事業の進捗を図ることができた。									
課題		・刈谷城の整備に向けた啓発活動に取り組んでいく必要がある。 ・民間活力の導入を見据えた公園全体の管理運営について、関係部署等と協議・調整を行う必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標		公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）			—	78.3	—	79.3	80.3		
活動指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	535	151,891	337,117	合計 151,890,929 円				
	財源	特定財源	0	0	147,659	251,600	報償費 225,920 円				
		一般財源	0	535	4,232	85,517	旅費 427,420 円				
	職員人件費 ②		0	1,354	17,778	23,282	需用費 161,049 円				
	総事業費（①+②）		0	1,889	169,669	360,399	委託料 151,053,000 円				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称						
		7年度までの累積事業費		0	前年度繰越金						
9年度以降の事業費見込		0	新しい地方経済・生活環境創生交付金（国）								

会計名			亀城公園整備事業	担当部	都市公園部
一般会計				担当課	公園整備課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	4	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	社会情勢やニーズの変化により、公園が担う役割は多様化しており、公園の持つ機能の更なる充実や魅力の向上による誰もが行きたくくなるような公園づくりが必要である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		高い	新しい地方経済・生活環境創成交付金等を活用するとともに、啓発活動等の実施により寄附金を募ることで、コストの節減を図る。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	第8次総合計画には、亀城公園では、特色をいかした公園整備を推進することとしており整合している。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	構想の実現を目指して誰もが行きたくくなるような公園づくりを推進することで、地域の魅力向上や緑豊かな潤いのあるまちづくりに寄与するとともに、新たな「憩い」と「にぎわい」の場を創出することができる。
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止		
	魅力あふれる公園づくり構想の実現に向けた取組を推進する必要がある。				

会計名			岩ヶ池公園整備事業				担当部		都市公園部	
一般会計							担当課		公園整備課	
款	項	目					担当係		施設整備係	
8	4	5								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	特色ある公園の整備						
	目的	伊勢湾岸自動車道の刈谷パーキング施設と一体となった新たなアミューズメント空間の創出を行い、あわせて岩ヶ池や周辺の森林を活かした「自然とふれあい、遊び、学ぶ」場を創出する。				主たる内容	○第三期整備区域の拡張整備 ○池の周遊コースの整備		
		位置づけ	第3次緑の基本計画、魅力あふれる公園づくり構想、第4次刈谷市都市計画マスタープラン						
		関連計画	都市公園法						
		根拠法令	市民						
	対象者	市民				事業期間	平成5年度～		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							

BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	・第三期拡張区域駐車場整備工事		・仮設駐車場撤去工事 ・園路等実施設計（R5繰越分） ・第三期拡張区域駐車場看板設置工事 ・第三期拡張区域駐車場植栽工事		（R6繰越分） ・園路等実施設計		_____		
	成果	・関係機関と調整を図りながら、園路等の詳細設計を実施し、事業の進捗を図ることができた。							
	課題	・関係機関で行う工事と工程調整を行いながら、周辺住民や地権者への事業説明を行っていく必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	成果指標	公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）		—	78.3	—	—	80.3	
	成果指標	来場者数（万人）		766	750	743	—	750	
	他市との比較検証	他のハイウェイオアシスの来場者数（令和6年度） ・各務原市 河川環境楽園（約446万人） ・豊田市 鞍ヶ池公園（約139万人）							

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		237,031	23,641	5,330	0	合計	5,329,500 円
	財源	特定財源	59,500	9,988	5,330	0	委託料	5,329,500 円
		一般財源	177,531	13,653	0	0		
		職員人件費 ②	6,906	4,380	1,406	847		
	総事業費（①＋②）		243,937	28,021	6,736	847		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0	前年度繰越金			
		9年度以降の事業費見込		0				

会計名			岩ヶ池公園整備事業	担当部	都市公園部
一般会計				担当課	公園整備課
款	項	目		担当係	施設整備係
8	4	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	岩ヶ池周辺において公園整備を行うことにより、年々減少している緑の保全を図るとともに、本公園は本市を代表する施設となっており、本市のレクリエーションや交流の場、観光の拠点として、魅力あふれる公園づくり構想の実現に向けた取組を推進していく必要がある。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		高い	社会資本整備総合交付金の活用により事業費を確保するとともに、既存樹木の活用や地形の改変抑制など、現況特性を生かした整備によりコストの節減を図る。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	第8次総合計画には、岩ヶ池公園では、特色をいかした公園整備を推進することを位置付けるとともに、第3次緑の基本計画では拠点となる緑の充実のため、周辺の自然環境やパーキングエリアの機能をいかし、レクリエーション拠点としての機能の拡充を位置付けている。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	刈谷ハイウェイオアシスとして、年間約740万人の利用者があり、本市の観光や産業をPRする場となっているほか、イベント開催等により、市民の交流・活動の場を提供しており、成果指標の達成における中心的な公園となっている。
	今後の方向性		□拡充 ☒ 現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止		
	魅力あふれる公園づくり構想の実現に向けた取組を推進する必要がある。				

会計名			洲原公園整備事業				担当部		都市公園部	
一般会計							担当課		公園整備課	
款	項	目					担当係		施設整備係	
8	4	5								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤							
		基本施策	公園緑地・緑化							
		施策の内容	特色ある公園の整備							
	目的	魅力あふれる公園づくり構想の実現に向けて、誰もが行きたくなるような公園づくりを効率的かつ効果的に推進し、憩いとにぎわいの場を創出する。				主たる内容	○学びの森エリアの整備 ○池の周遊コースの整備			
		位置づけ	第3次緑の基本計画、魅力あふれる公園づくり構想、第4次刈谷市都市計画マスタープラン							
		関連計画	都市公園法、都市計画法							
		根拠法令	都市公園法、都市計画法							
	対象者	市民				事業期間	令和6年度～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・学びの森エリアの基本設計 ・園路等実施設計		（R6繰越分） ・学びの森エリアの基本設計 ・園路等実施設計						
成果		・魅力あふれる公園づくり構想の実現に向けて、関係機関や民間事業者へのサウンディングなどを実施し、整備に向けた検討とともに、園路等の実施設計を行い事業の進捗を図ることができた。								
課題		・検討した整備内容を踏まえ、関係機関等と協議・調整を行っていく必要がある。 ・民間活力の導入も見据えた公園全体の管理運営について、関係部署等と協議調整を行う必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）				—	78.3	—	—	80.3
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	3,927	9,737	0	合計	9,737,200 円		
	財源	特定財源	0	0	9,737	0	委託料	9,737,200 円		
		一般財源	0	3,927	0	0				
	職員人件費 ②		0	1,274	4,134	1,270				
	総事業費（①＋②）		0	5,201	13,871	1,270				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0	前年度繰越金					
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			洲原公園整備事業	担当部	都市公園部
一般会計				担当課	公園整備課
款	項	目		担当係	施設整備係
8	4	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	社会情勢やニーズの変化により、公園が担う役割は多様化しており、公園の持つ機能の更なる充実や魅力の向上による誰もが行きたくくなるような公園づくりが必要である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		高い	社会資本整備総合交付金やPark-PFI制度による民間資金などを活用することで、コストの節減を図る。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	第8次総合計画には、洲原公園では、特色をいかした公園整備を推進することとしており整合している。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	構想の実現を目指して誰もが行きたくくなるような公園づくりを推進することで、地域の魅力向上や緑豊かな潤いのあるまちづくりに寄与するとともに、新たな「憩い」と「にぎわい」の場を創出することができる。
	今後の方向性		□拡充 ■現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止		
	魅力あふれる公園づくり構想の実現に向けた取組を推進する必要がある。				

会計名			たまち公園等整備事業				担当部		都市公園部	
一般会計							担当課		公園整備課	
款	項	目					担当係		施設整備係	
8	4	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤							
		基本施策	公園緑地・緑化							
		施策の内容	利用しやすい公園の整備							
	目的	しげはら園の移転及び刈谷豊田総合病院の拡充にあわせ、住吉公園を移転し、たまち公園を整備するとともに、神田公園を再整備することで、公園機能の増進を図る。				主たる内容	○新規公園整備（たまち公園） ・場所 田町4、5丁目 ・面積 約1.2ha ○既存公園再整備（神田公園） ・場所 若松町5丁目 ・面積 約0.3ha			
		位置づけ	関連計画	第3次緑の基本計画						
		位置づけ	根拠法令	都市公園法						
		対象者	市民				事業期間	令和5年度 ～ 令和9年度		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績	6年度実績		7年度実績		8年度計画			
			・たまち公園の実施設計、 用地取得 ・神田公園の実施設計		・都市計画決定の手続 ・たまち公園の事業認可取得、 用地取得 （R5繰越分） ・たまち公園の実施設計		・たまち公園の整備工事		（R7繰越分含む） ・たまち公園の整備工事	
成果			・関係機関と協議・調整を行い、整備工事を発注し、工事を進めることができた。							
課題			・関係機関と協議・調整を行いながら、工事の進捗を図る必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
成果指標		公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）		—	78.3	—	79.3	80.3		
成果指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		74,130	301,565	188,659	562,915	合計 188,658,800 円			
	財源	特定財源	0	222,633	0	503,200	役務費 111,000 円			
		一般財源	74,130	78,932	188,659	59,715	工事請負費 188,000,000 円			
	職員人件費 ②		7,481	10,353	3,721	4,021	負担金、補助及び 交付金 547,800 円			
	総事業費（①＋②）		81,611	311,918	192,380	566,936				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
9年度以降の事業費見込		0								

会計名			たまち公園等整備事業		担当部	都市公園部
一般会計					担当課	公園整備課
款	項	目			担当係	施設整備係
8	4	5				
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	地域課題に対応するため、まちづくりと連携した多面的な公園の利用や再編を行う必要がある。	
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		高い	市民参加型の整備を推進することで、地域住民による積極的な利活用や維持管理が期待できることから、効率的な維持管理に寄与する。また、社会資本整備総合交付金等の補助金を活用することで、コストの節減を図る。	
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	第8次総合計画には、まちづくりと連携した多面的な公園の利用や再編、再整備を図ることとしており整合している。	
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	公園機能の増進とともに、地域住民の利便性の向上を図ることにより、本市の魅力の向上と緑豊かな潤いのあるまちづくりを推進することで、定住促進に寄与する。	
	今後の方向性		□ 拡充 ■ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止			
	まちづくりと連携した多面的な公園の利用や再編にあわせて、引き続き公園整備を推進する。					

会計名			井田公園整備事業				担当部		都市公園部			
一般会計							担当課		公園整備課			
款							項目		担当係		施設整備係	
8							4		5			

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	利用しやすい公園の整備						
	目的	公園が不足する地域に、子どもの遊び場、地域住民の健康増進及び憩い・交流の場を創出する。				主たる内容	○新規公園整備 ・場所 井ヶ谷町井田 ・面積 約0.22ha		
	位置づけ	関連計画	第3次緑の基本計画						
		根拠法令	都市公園法						
	対象者		市民			事業期間	令和6年度 ～ 令和11年度		
実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							

BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
			・都市計画事業認可の取得		・用地取得		・基本設計		
	成果		・用地取得を行うことができた。						
	課題		・地域住民に親しまれ活用される公園づくりを行うためにワークショップを開催し、整備内容について具体的な調整を図る必要がある。						
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）			—	78.3	—	79.3	80.3
	活動指標								
	他市との比較検証								

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	484	179,561	10,406	合計 179,561,200 円	
	財源	特定財源	0	0	162,120	4,750	需用費 60,000 円	
		一般財源	0	484	17,441	5,656	委託料 858,000 円	
	職員人件費 ②		0	1,752	2,481	3,386	公有財産購入費 178,643,200 円	
	総事業費（①＋②）		0	2,236	182,042	13,792		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0	社会資本整備総合交付金（国）			
		9年度以降の事業費見込		0	井田公園整備事業債			

会計名			井田公園整備事業	担当部	都市公園部
一般会計				担当課	公園整備課
款	項	目		担当係	施設整備係
8	4	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	地域住民の憩いや交流などの場となる身近な公園が不足しているため、住みよいまちの重要な要素となり、定住促進に寄与する公園の整備を推進する必要がある。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		高い	市民参加型の整備を行うことで、地域住民がより積極的に利用したり活用することにつながり、地域の交流拠点となるとともに、住民が公園管理に係わっていただけることなどにつながり、効率的な維持管理に寄与する。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	第8次総合計画には、地域住民と連携した公園整備を推進することとしており整合している。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	身近な公園を整備し、市民の憩いや交流の場を創出することにより、成果指標の向上につながるとともに、市の公園の充実が市の魅力、住みよいまちへの評価につながり、定住促進に寄与する。
	今後の方向性		□拡充 ☒ 現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止		
	令和8年度は地域住民等とワークショップを開催する予定。				

会計名			亀城公園等整備基金積立事業				担当部		都市公園部		
一般会計							担当課		公園整備課		
款	項	目					担当係		事業推進係		
8	4	5									
PLAN計画V	事業概要	総合計画 施策体系	分野	都市基盤							
			基本施策	公園緑地・緑化							
			施策の内容	特色ある公園の整備							
		目的	亀城公園の再整備を行うとともに、歴史博物館の建設及びその周辺施設を整備し、自然に親しみながら刈谷市の歴史に触れることができる魅力ある場所に整備するために積み立てを行う。				主たる内容	亀城公園等整備基金に寄附金等を積み立てる。			
	位置づけ										
	関連計画										
	根拠法令	刈谷市亀城公園等整備基金条例									
	対象者	市民				事業期間	平成21年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO実績V	事業実績	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
・寄附金 2,319,333円 ・運用収入 3,089,352円			・寄附金 2,048,446円 ・運用収入 8,204,568円		・寄附金 1,887,751円 ・運用収入 21,141,310円		寄附金と運用収入を基金に積み立てる。				
成果			・寄附金等を亀城公園等整備基金に積み立てた。 ・令和8年3月末基金総額 1,713,523,418円								
課題											
指標名称（単位）				実績値		目標値					
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
指標											
指標											
他市との比較検証											
Cコスト			事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①			5,409	10,253	23,029	26,405	合計 23,029,061 円			
	財源	特定財源		5,277	9,802	22,487	26,405	積立金 23,029,061 円			
		一般財源		132	451	542	0				
	職員人件費 ②			1,918	1,274	1,736	1,278				
	総事業費（①＋②）			7,327	11,527	24,765	27,683				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0		亀城公園等整備基金積立金利子					
		9年度以降の事業費見込		0		公園事業費寄附金					

会計名			魅力あふれる公園づくり基金積立事業				担当部		都市公園部		
一般会計							担当課		公園整備課		
款	項	目					担当係		事業推進係		
8	4	5									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤								
		基本施策	公園緑地・緑化								
		施策の内容	特色ある公園の整備								
	目的	魅力あふれる公園づくり構想の実現に向けて、誰もが行きたくするような公園づくりを効率的かつ効果的に推進し、憩いとにぎわいを創出するために積み立てを行う。					主たる内容	魅力あふれる公園づくり基金に寄附金等を積み立てる。			
		位置づけ									
		関連計画									
		根拠法令	刈谷市魅力あふれる公園づくり基金条例								
		対象者	市民			事業期間	令和6年度～				
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
		・寄附金 80,000円 ・積立金 500,000,000円		・寄附金 2,161,421円 ・運用収入 6,262,675円		寄附金と運用収入を基金に積み立てる。					
成果		・寄附金等を魅力あふれる公園づくり基金に積み立てた。 ・令和7年3月末基金総額 508,504,096円									
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標											
活動指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	500,080	8,424	7,822	合計 8,424,096 円				
	財源	特定財源	0	80	7,909	7,822	積立金 8,424,096 円				
		一般財源	0	500,000	515	0					
	職員人件費 ②		0	876	1,736	1,278					
	総事業費（①＋②）		0	500,956	10,160	9,100					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称						
		7年度までの累積事業費		0	魅力あふれる公園づくり基金積立金利子						
		9年度以降の事業費見込		0	公園事業費寄附金						